



対がん協会報

1部77円(税込み)

第716号

2022年(令和4年)
7月1日(毎月1日発行)

公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です

〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル7階
☎ 03-3541-4771 FAX 03-3541-4783 <https://www.jcancer.jp/>

主な内容	3面	後藤前理事長が逝去
	5面	がんと性 アニメ動画で理解と支援促す
	6面	東京マラソン2023 チャリティランナー募集

がん患者・家族の支援 私たちにできることは?

患者会、医療従事者、支援者らが意見交換

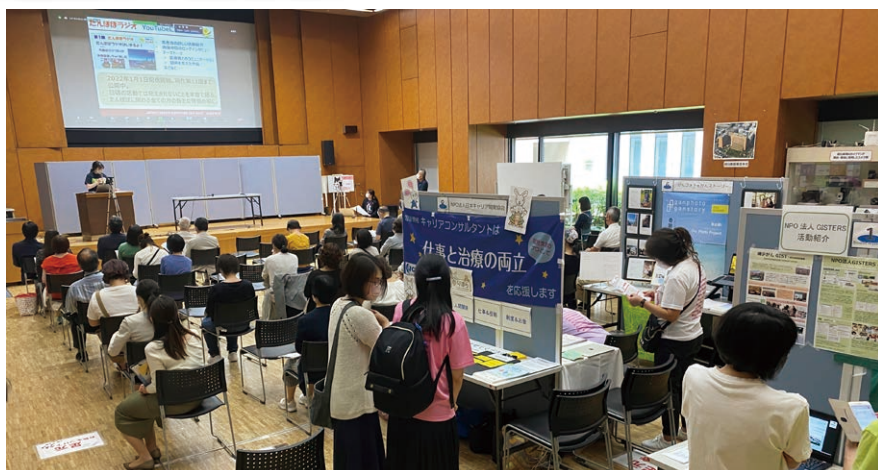
JCSD2022開催

日本対がん協会

がん患者や家族らを支援する「JAPAN CANCER SURVIVORS DAY(ジャパン・キャンサー・サバイバーズ・デイ)2022」が6月5日、東京都内の会場とオンライン配信のハイブリッドで開催された。新型コロナウイルス感染症の状況をみつつ、3年ぶりの会場開催となった。日本対がん協会の活動の柱の一つである患者・家族の支援を担う、がんサバイバー・クラブ(GSC)、リレー・フォー・ライフ(RFL)が共催し、がん相談ホットラインが協力。がん専門医の講演、患者会活動をテーマにしたパネルディスカッションがあった。

今回のテーマは「私たちができるがんサバイバー支援ってなに?」。患者会の活動を中心に、患者や家族に何が提供できるか、どのように寄り添っていくのか、患者会に求められているものなどについて考えた。

前半の講演では、がん研有明病院腫瘍精神科部長の清水研医師が「コロナ禍だからこそ必要な寄り添い」と題し、コロナ禍の中で不安を感じている患者への寄り添い方について語った。事例



コロナ禍で会場開催は3年ぶり。患者会などが活動紹介のブースを出展した

を交えながら、患者に寄り添っていくには、まずは相手のことを理解するために質問もしながら丁寧に話を聞くことが大切だと説明した。また、宮崎善仁会病院消化器内科・腫瘍内科の押川勝太郎医師が「医療者が求める患者会・支援団体とは?~連携しよう!~」との題で、医師、看護師の手が届かない日常生活の中で、患者会や支援団体が患者・家族をサポートすることで、より良いがん治療の環境が整うと呼びかけた。

後半は、がんサバイバーや家族を対

象にしたアンケート調査の結果をもとに、患者支援のあり方などについて清水医師、NPO法人GISTERSの西館澄人さん、日本対がん協会相談支援室の北見知美マネージャーによるパネルディスカッションがおこなわれた。

会場となった朝日新聞東京本社読者ホール(東京都中央区)では、GSCやRFLの活動に参加している患者会、支援団体がブースを出展。講演とパネルディスカッションの合間に、各団体の代表者がそれぞれの活動内容を紹介した。

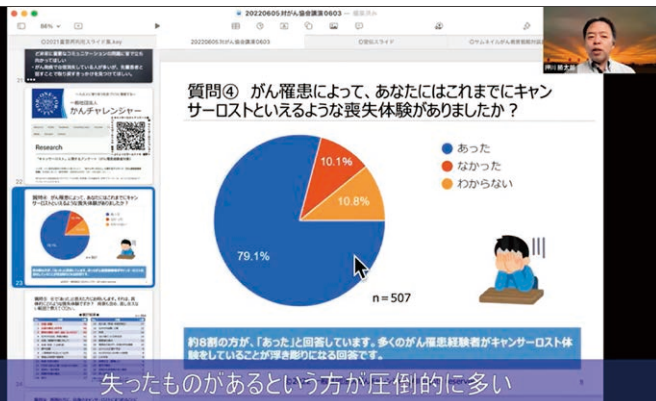
寄り添っているということ

- ① その人の悩みを理解しようとする
その人の悩みを理解するための質問を繰り返すこと。
〇〇で悩まれているのですねと伝えること。
- ② 心から「〇〇という気持ちなのですね」と言える
- ③ 相手が「自分の気持ちをわかってもらえた」と思える

簡単ではない。結果ではなく、理解しようとする姿勢が大切

ただこれはまあそういう風に行くこともある。条件より

清水研医師の講演資料より



失ったものがあるという方が圧倒的に多い

押川勝太郎医師の講演資料より

信頼できる情報の提供、 同じような経験や気持ちの共有、 グリーフケア…

患者会の活動を
テーマにパネル討論
JCS2022

パネルディスカッションでは、がんサバイバー・クラブの会員を対象にネット上で実施したアンケート調査の結果をもとに、がん研有明病院腫瘍精神科部長の清水研医師、NPO法人GISTERSの西館澄人さん、日本対がん協会相談支援室マネジャーの北見知美が意見を交わした。進行役は、がんサバイバー・クラブの濱島明美が務めた。

アンケートでは、まず、患者会の活動への参加の有無と理由を尋ねた。回答者の半数以上は参加経験があり、理由には「情報収集」「情報交換と共有」「院内に患者会があり、入院前に情報が欲しかった」「同じ苦しさ、怖さを経験した人たちとの気持ちの共有」など、多くの回答には「情報」「共有」「共感」「仲間」といったキーワードが見られた。

患者会に参加してよかったと感じたことは、「不安や悩みに共感し合い、気持ちが楽になった」「がん患者のイメージが変わった！『がん=死』ではないという事がわかった」「1人ではないと勇気づけられた」「副作用へのアドバイス、日常生活で気をつけることなどいろいろ聞いて希望がもてた」など前向きな姿勢になれたことが挙げられた。

残念なことでは「根治できる人と、治療し続けなければならない人が同じテーブルにつくと重苦しい雰囲気にな

る」「毎回ほぼ同じメンバーで同じ話をして帰る」「情報の質や量の格差、地域間格差、環境の格差を感じる」「患者会等があることを知ったのは治療後。もっと積極的に手を差し伸べてほしかった」などさまざまな声があった。

北見マネジャーは「抗がん剤の副作用、学校のPTA活動、家族にどう話すかなど、生活に関わる悩みを抱えている。患者会では、他の患者の体験を知り、思いを共有できる。日頃感じる葛藤や苦しみなど、ネガティブな内容でも共有することで自分を肯定できる。体験を話すことが誰かの支えになり、社会とつながりを持てる」。西館さんは「漠然とした悩みの中から、余計な心配を取り除くことができる」と語った。

清水医師は「コロナ禍で地域間に情報の格差ができています。オンラインやSNSを使うことで、ハードルを下げられるような取り組みができれば」と提案した。

患者会に望むことでは、「仕事をしている人でも行きやすい土、日曜日だと良い。世代ごとに会えればなお良い」「就労に関する提案や個別相談」「家族同士も繋がる団体」「サポーターの養成」「配偶者をがんで亡くした同世代との交流」「残った家族、特に子どもたちのケア」など



アンケート結果をもとに、議論が進められた

の声が寄せられた。

このうち、遺族の悲しみに寄り添うグリーフケアの必要性について、清水医師は「ニーズは多い。遺族外来は予約が殺到している。孤独な人がつながることができる工夫が必要」と経験を語った。北見マネジャーも「亡くした相手によって事情も違う。どういう人を対象にするのか丁寧に考えることが大事。亡くされた直後なのか、数年後なのか、大切な人とのエピソードをふとした時、思い出し、悲しみがよみがえることもある。時間の経過をみるのではなく、想いが募った時、誰かに話し、心を解き放つことができる場が必要」と助言した。

最後に、西館さんは「患者会の活動は難しい半面、やりがいもある。(多くの患者、家族、支援者が集う)リレー・フォー・ライフに参加して活動してみると、何か見えてくるかもしれない」と提案。清水医師は「患者会を運営する立場、参加する立場でも温かい場をつくるという想いのうねりを感じた」と感想を語った。

北見マネジャーは「『支援』という言葉は窮屈だが、それぞれの経験を周囲の人に話す、それが誰かを救うことになるかもしれない。できるところから始めるのがいいのでは」と締めくくった。



それぞれの立場で意見を述べる
西館さん、清水医師、北見マネジャー(左から)

日本対がん協会の
活動指導に尽力

後藤尚雄 前理事長が 逝去



後藤尚雄前理事長

公益財団法人日本対がん協会顧問で前理事長の後藤尚雄(ごとう・ひさお)氏が6月15日午後6時40分、くも膜下出血のため、東京都内の病院で逝去されました。68歳でした。葬儀・告別式は6月19日、都内の寺院で、近親者のみで執り行われました。

後藤氏は東京都出身。2017年6月、朝日新聞社常務取締役・大阪本社代表から、日本対がん協会の理事に就任し、理事長に選任されました。

理事長在任中、日本対がん協会では「がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい」との新たなパーパスが掲げられました。2017年6月、日本対がん協会創立60周年事業として、がん患者・家族を支援するウェブサイト「がんサバイバー・クラブ」がスタート。2018年6月には「ジャパン・キャンサー・サバイバーズ・デイ2018」が初めて開催されました。同じ年、全国のがんサバイバーを励ますため、垣添忠生会長が全国がんセンター協議会加盟の32病院を訪ねた「全国縦断 がんサバイバー支援ウォーク」では、後藤氏が各地で到着を出迎えるなど、二人三脚でがん患者支援を訴えました。また、がん予防では、2018年9月のがん征圧全国大会で、禁煙の重要性を広く社会に訴える「タバコゼロ宣言」を公表。2019年10月には、タバコの害から命を守る社会の実現をめざす「グローバル・タバコフリーサミット」の主催者に協会も加わりました。

「がんに負けない社会をつくる」という大きな目標のもと、日本対がん協会が取り組んでいる中期計画(2018~2022年度)の立ち上げから指導にあたり、2021年6月からは顧問として、引き続き、協会の活動を支えていただいております。

ここに生前のご厚誼に深謝し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

2021年度の 事業報告と決算を承認 新理事に本多氏

2022年度評議員会を開催

日本対がん
協会

公益財団法人日本対がん協会の2022年度評議員会が6月21日に開かれ、2021年度の事業報告と決算が承認された。任期満了に伴う役員人事では、理事に資生堂ダイバーシティ&インクルージョン戦略推進部長の本多由紀氏、監事に公認会計士の矢野拓也氏が新たに選任された。また、評議員には、東北医科薬科大学光学診療部教授の佐川元保氏、朝日新聞社執行役員の長谷川玲氏が新たに選任された。いずれも任期は2024年度定時評議員まで。

評議員会の冒頭、日本対がん協会顧問で前理事長の後藤尚雄氏の逝去が石田一郎常務理事から伝えられ、出席者は1分間の黙とうをして後藤氏の冥福を祈った。

❖新理事❖ 本多 由紀(ほんだ・ゆき)

1989年資生堂入社。2015年人事部ビジネスパートナー室長、2016年資生堂ジャパン(株)人事部長、2018年同社人事本部長、2019年社会価値創造本部ダイバーシティ&インクルージョン室長、2022年ダイバーシティ&インクルージョン戦略推進部長。



任期満了に伴い選任された役員(理事、監事)、評議員のみなさん。(五十音順、敬称略)

- ◇代表理事・会長 垣添忠生(元国立がんセンター総長)
- ◇代表理事・理事長 梅田正行(朝日新聞社顧問)
- ◇常務理事 石田一郎(日本対がん協会業務執行理事)、佐野武(がん研有明病院病院長)、中釜斉(国立がん研究センター理事長)
- ◇理事 安斎隆(東洋大学理事長 セブン銀行特別顧問)、今村聡(日本医師会副会長)、金井洋(生命保険協会副会長)、中村史郎(朝日新聞社代表取締役社長)、本多由紀(資生堂ダイバーシティ&インクルージョン戦略推進部長)
- ◇監事 清水隆(朝日新聞社常務執行役員財務担当)、矢野拓也(公認会計士)
- ◇評議員 アグネス・チャン(歌手・タレント)、岸本葉子(エッセイスト)、坂下千瑞子(東京医科歯科大学血液内科特任助教)、佐川元保(東北医科薬科大学光学診療部教授)、佐々木常雄(都立駒込病院名誉院長)、中川恵一(東京大学大学院医学系研究科総合放射線腫瘍学講座 特任教授)、野田哲生(がん研究会がん研究所所長)、藤澤武彦(千葉大学名誉教授、ちば県民保健予防財団理事長)、長谷川玲(朝日新聞社執行役員)、松浦成昭(大阪国際がんセンター総長、大阪対がん協会会長)、森昌平(日本薬剤師会副会長)、山口建(静岡県立静岡がんセンター総長)、山根則幸(予防医学事業中央会専務理事)、山本秀樹(日本歯科医師会常務理事)

退任された役員・評議員のみなさん。(五十音順、敬称略)

- ◇理事 山本尚美(資生堂エグゼクティブオフィサー)
- ◇監事 杉浦文彦(公認会計士)
- ◇評議員 斎藤博(青森県立中央病院医療顧問)、堀江隆(朝日新聞社取締役)

日本人の死因 1位はがん38万1,497人

男性65~69歳、女性55~59歳がピーク

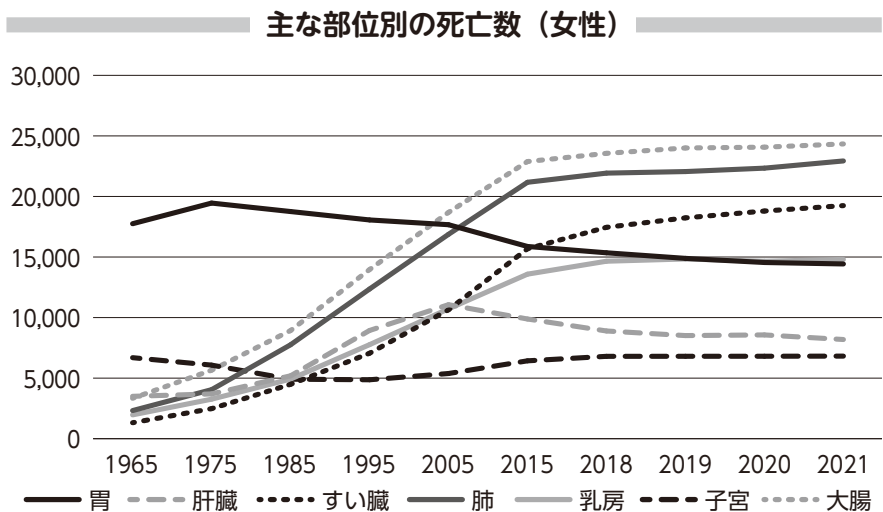
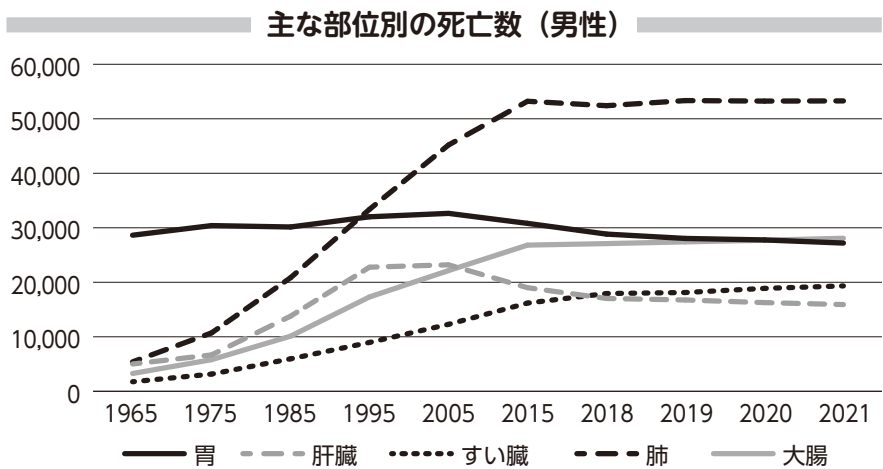
2021年の人口動態統計(概数) 公表 厚生労働省

厚生労働省は6月、2021年の人口動態統計月報年計(概数)をまとめ、公表した。2021年の1年間に日本で発生した日本人の事象を集計した。死亡数は、前年比6万7,054人増の143万9,809人で戦後最多となっている。このうち、がん(悪性新生物(腫瘍))による死亡数は38万1,497人(26.5%)となり、死因順位の第1位となっている。

死亡数を死因順位別にみると、1位のがんは38万1,497人で人口10万人あたりの死亡率は310.7、2位の心疾患(高血圧性を除く)は21万4,623人で同174.8、3位の老衰は15万2,024人で同123.8、4位の脳血管疾患は10万4,588人で同85.2となっている。

主な死因別の死亡率の年次推移をみると、がんは一貫して上昇しており、1981年から死因順位の1位が続いている。2位の心疾患(高血圧性を除く)は1985年に脳血管疾患を抜いて2位になり、2021年は全死亡数の14.9%を占めた。3位の老衰は1947年をピークに割合が下がっていたが、2001年から上昇し、2018年に3位になった。2021年の割合は10.6%となった。肺炎による死亡は7万3,190人で、このうち新型コロナウイルス感染症による死亡数は1万6,756人だった。

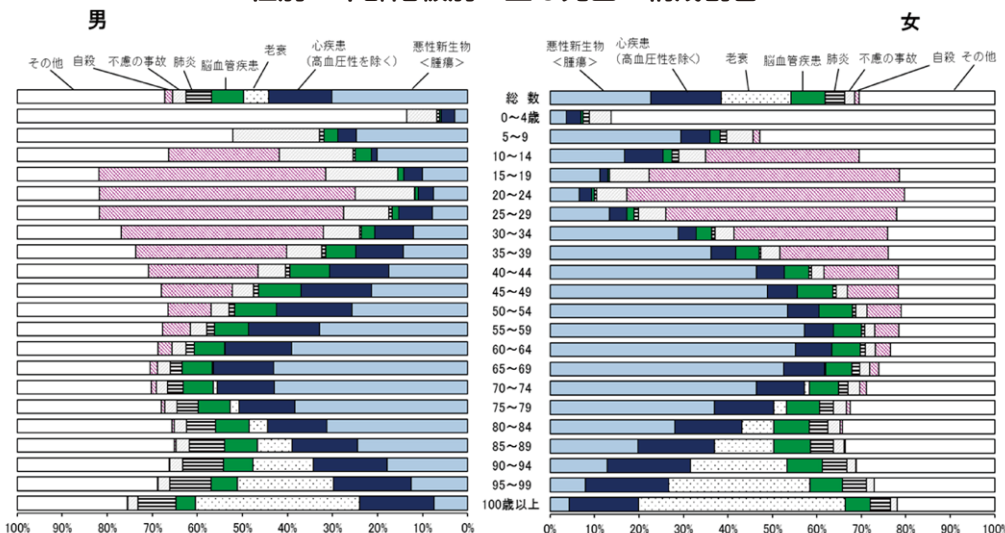
性別、5歳ごとの年齢階級別に、主な



注) いずれも人口10万人あたり。大腸は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。ただし、1967年までは直腸肛門部を含む。1994年以前の子宮は胎盤を含む。

死因の割合をみると、男性の5~9歳 95歳以上は老衰が多くを占める。女性と45~94歳はがん、10~44歳は自殺、も5~9歳と35~89歳はがん、10~34歳は自殺、90歳以上は老衰が多くなっている。がんによる死亡の割合のピークは、男性が65~69歳、女性が55~59歳となっている。

性別・年齢階級別の主な死因の構成割合



がんの主な部位別の人口10万人あたりの死亡率は、男性は肺が最も高く、1993年から1位になっており、2021年は89.3、死亡数は5万3,279人だった。女性は大腸、肺の死亡率が高く、大腸は2003年から1位になり、2021年は38.6、死亡数は2万4,337人となっている。

がんの主な部位別の人口10万人あたりの死亡率は、男性は肺が最も高く、1993年から1位になっており、2021年は89.3、死亡数は5万3,279人だった。女性は大腸、肺の死亡率が高く、大腸は2003年から1位になり、2021年は38.6、死亡数は2万4,337人となっている。



「がんと性(セクシュアリティ)」を考える アニメーション動画公開

社会全体で支援を進めるきっかけに

キャンサーネットジャパン

休眠預金活用事業の実行団体の一つ、特定非営利活動法人「キャンサーネットジャパン(CNJ)」(岩瀬哲理事長)は、アニメーション動画「したい？ する？ ～がんとセックス～」を制作した。がんやがん治療に伴う性的側面への影響を改善・軽減する方法や工夫があることを知ってもらおうと、特設サイト「もっと知ってほしい がんと生活のこと」の中で公開している。

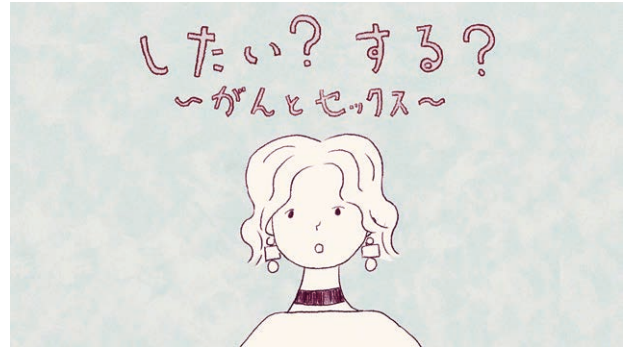
CNJは休眠預金を活用した助成金事業として「がん患者の性生活(セクシュアリティ)～心と体に及ぼす性的側面のサポート～」に取り組んでいる。国内では情報が少ないがんと性の問題について、小児がんやAYA世代を含めたがん患者やパートナーに向けて、専門医の監修を受けた多くの情報を発信している。

がんやがん治療による性生活への影響について、無意識に諦めていたり、自分には権利が無いと思込んでいる患者は少なくない。そのため、自分にも権利があること、安心して相談できる窓口があることに気づく

きっかけにしてもらおうと動画を制作した。約4分の作品は、がんサバイバーのアヤカと恋人のユウキが「がん患者だから、セックスより命？」と疑問を抱き、ネット検索で調べたり、周囲の意見を聞

いたり、医師に相談したりと、がんと付き合い方を考える内容。昭和大学保健医療学部の渡邊知映教授が監修した。がん治療をしながら、あるいは、がんを克服して日常生活を送る人が増える中、当事者だけでなく、医療従事者をはじめ社会全体で理解を深め、支援していくことが重要だという。

CNJが2021年にがん患者らを対象にネット上で実施した調査では、がん治療に伴う性に関する困りごとや不安について、誰にも相談できなかったと回答した人は53.8%を占めた。また、がん患者のパートナーを含め9割以上の人が、がんとセックスに関する情報



CNJが制作したアニメーション動画より

や支援が不足している、と答えた。

CNJによると、「がん患者にとってセックスは二の次」「がんが治ったんだからセックスなんて贅沢」と考えてしまう人は多く、性的側面への影響を改善・軽減する方法や工夫に関する情報を得ようとする患者・パートナーは多いとは言えない状況。この動画によって、当事者が「自分ごと」として考え、医療従事者や社会が支援を強化していくきっかけにしたいという。病院のサイネージや、音を消して見ることを想定した字幕版もある。

特設サイト：<https://www.cancernet.jp/seikatsu/sexuality/>

動画：<https://youtu.be/3iPar7lOPf4>

字幕版：<https://youtu.be/1meL7oJCotQ>

がん相談ホットライン 03-3541-7830

毎日受け付けています

時間は当分の間、10:00～13:00 15:00～18:00

社会保険労務士による「がんと就労」電話相談の予約はインターネットの専用フォームで受け付けます。がん専門医による相談は今年度休止します

態勢縮小のため電話がつながりにくいことがあります。何卒ご了承ください



社労士による
電話相談



日本対がん協会 東京マラソン2023 チャリティ寄付先団体に

がんサバイバーなど、チャリティランナーを募集



©東京マラソン財団

コロナ禍の影響で今年3月に開催された「東京マラソン2021」

公益財団法人日本対がん協会は、一般財団法人東京マラソン財団が2023年3月5日(日)に主催する「東京マラソン2023」のチャリティ寄付先団体の一つに選ばれました。東京マラソン

2023チャリティを通じて、寄付金は、がんに関する不安や心配がある方などなたでもご利用いただける、日本対がん協会の無料電話相談「がん相談ホットライン」を主とする、がん征圧活動に活用させていただきます。併せて、この大会に出走

していただくチャリティランナーを募集しています。

チャリティランナーの募集は、コロナ禍の影響により、2年ぶり。日本対がん協会に対し、10万円以上のご寄

付をされる方が対象になります。募集枠は150人で、がんサバイバー(がん経験者)の方に一定の優先枠を設け、一般ランナーの方は別途選定させていただきます。応募締め切りは7月24日(日)です。

東京マラソン2023チャリティを通じての日本対がん協会への寄付は、1000円から受け付けています。締め切りは8月31日(水)です。

詳しくは、QRコード、または日本対がん協会ホームページ(<https://www.jcancer.jp/>)をご覧ください。



QRコード

ABCラジオ 「Changeの瞬間〜がんサバイバーストーリー」に出演

コロナ禍のがん検診への影響など解説 日本対がん協会の垣添会長

がん患者やがんサバイバーを応援するラジオ番組「Changeの瞬間〜がんサバイバーストーリー」に6月、日本対がん協会の垣添忠生会長が出演した。2020年5月、同10月に続いて4度目。この2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、がん検診の受診者数が減っていることなど、現在の状況を説明し、がん検診の重要性と受診を呼びかけた。

コロナ禍により、協会支部が実施した5つのがん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮頸)の受診者数は、新型コロナ流行前の2019年に比べ、2020年は27.4%減、2021年も10.3%減となっている。垣添会長は「がんはコロナとは無関係。症状は無くてもがんは静かに進行する。コロナ禍の中でもがん検診はきちんと受けてほしい」と呼びかけた。「セカンドオピニオンを受けたら、それまでの主治医の態度が変わってしまうのではないかと心配」というリスナーからの質問には、「セカンドオピニオンは当たり前のこととして定着している。場合によっては、命にかか

わる問題。患者の権利であり、時代の趨勢だ」と話し、心配する必要はないと助言。「診断、治療方針が同じであれば、元の病院に戻る人も多い。前の主治医と縁が切れるわけではない」とも説明した。また、ネット情報の利用については、「ネット情報は玉石混交。国立がん研究センター、日本対がん協会など信頼できる情報にあってほしい」と注意を促した。

最後に、改めてコロナ禍の中でのがん検診について聞かれると、「がんはコロナとは関係なく、目配りが必要。症状がない時に検診を受けることで、がんが見つかってもしる可能性が高まる」と検診を呼びかけ、「治療中の人は、免疫低下などによるコロナ感染を恐れ、自分の判断で診療を中断する人がいるが、医師や看護師と相談して決めてほしい」と訴えた。

番組は日本対がん協会と小野薬品工業の提供で、大阪ABCラジオが制作する15分番組。ABCラジオでは毎週日曜午前8時10分から、東京・TBSラジオでは毎週土曜日午前8時45分から放送中。がんを乗り越え、さまざまな分野で活躍するがんサバイバーをゲストに招き、フリーアナウンサーの八木早希さんが聞き役となり、がんと分かった経緯や、どんな気持ちでがんに向き合い、前向きになれたのか語ってもらう。



コロナ禍のがん検診受診率について話す垣添会長(右)。番組HPより

過去の放送内容は、番組ホームページ(https://www.abc1008.com/cancer_survivor/)、YouTube(https://www.youtube.com/channel/UCWL-cPC1wB7hMMoMPk_MJmg)で収録時の映像とともに視聴できる。スマートフォンでも、ラジオ番組の放送サービス「radiko.jp(ラジコ)」で聞くことができる。

老後に向けた手続きなどアドバイス、 公益活動支援も呼びかけ

オンライン終活セミナー 日本対がん協会など4団体

公益財団法人日本対がん協会など4団体は6月13日、オンライン終活セミナー「おひとりさま、おふたりさまがいまから準備したいこと。」を開き、約100人が参加した。人生100年時代、もし、認知症になったら生活や財産の管理をどうするか。亡くなった後のさまざまな事務手続きや財産はどうすればいいのか——。老後の手続きや後を託す人が困らないようにするための方法など、人生の締めくくり方について考えた。

前半は「任意後見や死後事務などの実務と活用事例」と題し、キャストグローバルグループの行政書士で、相続、生前対策が専門の脇美紗希さんが講演した。「任意後見」「家族信託」「身元保証」「見守り」「死後事務」「遺言」「遺贈寄

附」などに事例を交えながら解説した。老後に予想される困りごととして、介護が必要になった際、自分で申請できずに介護支援が遅れたり、入院や施設に入所が必要な際、保証人を立てられなかったりする事例を紹介。継続的に見守ってくれる人、会社や行政のサービスを探しておくことや、地域コミュニティに参加するようアドバイスした。また、緊急時を想定し、生年月日や

血液型、既往歴などを記録した情報カードを携帯したり、自宅においたりすることが大切と話した。後半は「遺贈寄附やセカンドライフのいきがいで社会貢

献」とのテーマでパネルディスカッションをおこなった。日本対がん協会など、主催4団体がそれぞれの活動を紹介。子どもの福祉や子育ての課題を解決するための活動、各地の子ども食堂と支援する企業を結び付ける活動、絶滅危惧種をはじめとする日本国内の自然保護や人材育成の活動などが紹介され、それぞれの活動に対する寄付や支援が呼びかけられた。



老後の備えについて解説する脇見さん

2022年度版

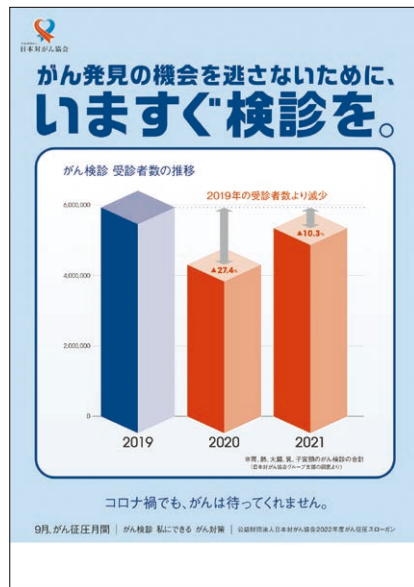
がん征圧ポスター、禁煙ポスターが完成

日本対がん協会

公益財団法人日本対がん協会の2022年度版「がん征圧」「禁煙」の各ポスターが完成した。9月のがん征圧月間に向け、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した受診者の回復のため、科学的根拠に基づくがん検診の受診を呼びかけていく。また、がん予防として禁煙の重要性を強く訴えていく。

がん征圧月間ポスターは、新型コロナウイルス感染症が国内で流行する前の2019年、感染が広がった2020年、2021年のがん検診受診者数を棒グラフで示し、コロナ禍による受診者減を伝え、がん検診の受診を呼びかける内容。がんは早期に発見できれば治る可能性が高く、がん検診では多くの早期がんが見つかる。「がん発見の機会を逃さないために、いまずぐ検診を。」と呼びかけるとともに、新型コロナとは関係なく、がんは進行することから「コロナ禍でも、がんは待ってられません。」と警鐘を鳴らしている。

禁煙ポスターは、がんをはじめ、多



2022年度版がん征圧ポスター

くの病気の原因となる喫煙の害を「病気も、タバコが大好きです。」というコピーと、ハート形の中にドクロの顔が浮かぶ紫煙で表現している。喫煙は、がんなどの発症だけでなく、治療の妨げにもなるとの説明も添え、喫煙の危険性と禁煙を訴える内容。がんを予防



2022年度版禁煙ポスター

するためには、タバコを吸わないことが最も効果的であり、タバコのない社会の実現を訴える、日本対がん協会のシンボルロゴ「タバコゼロ・ミッション」と、厚生労働省健康局の受動喫煙対策推進マスコット「けむいモン」のイラストも入っている。

2020年度グループ支部 がん検診の実施状況から ◆乳がん

■合計

支部名	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検受診者数 (C)	精検の結果					精検受診率 (C/B)	がん発見率 (D/A)	陽性反応 的中度 (D/B)
				がん(D)	がん疑い	がん以外の疾患	異常なし	その他			
北海道	55,641	1,285	1,249	251	0	815	183	0	97.20%	0.45%	19.53%
青森	20,691	1,086	1,003	66	1	196	438	302	92.36%	0.32%	6.08%
岩手	32,829	557	534	97	0	375	62	0	95.87%	0.30%	17.41%
宮城	49,024	1,383	1,343	126	0	214	471	532	97.11%	0.26%	9.11%
秋田	10,594	643	583	24	0	232	240	87	90.67%	0.23%	3.73%
山形	34,820	1,854	1,683	64	10	609	1,000	0	90.78%	0.18%	3.45%
福島	19,574	277	244	34	9	77	92	23	88.09%	0.17%	12.27%
茨城	27,229	798	732	61	23	429	193	26	91.73%	0.22%	7.64%
栃木	37,373	1,406	1,301	99	24	800	378	0	92.53%	0.26%	7.04%
群馬	16,678	713	690	41	1	394	254	0	96.77%	0.25%	5.75%
埼玉	23,697	1,532	1,307	51	15	525	632	84	85.31%	0.22%	3.33%
千葉	103,032	3,012	2,533	154	10	1,452	918	0	84.10%	0.15%	5.11%
新潟	54,210	2,684	2,508	164	25	1,301	1,031	80	93.44%	0.30%	6.11%
山梨	8,642	285	265	13	1	143	102	6	92.98%	0.15%	4.56%
長野	38,274	1,668	1,464	60	10	659	568	167	87.77%	0.16%	3.60%
富山	24,828	994	928	43	0	404	445	36	93.36%	0.17%	4.33%
石川	14,234	797	746	43	0	199	330	175	93.60%	0.30%	5.40%
福井	17,465	1,062	955	68	0	501	385	1	89.92%	0.39%	6.40%
愛知	2,488	154	123	3	0	67	53	0	79.87%	0.12%	1.95%
三重	27,778	953	858	78	21	457	284	18	90.03%	0.28%	8.18%
滋賀	3,565	214	190	4	2	54	130	0	88.79%	0.11%	1.87%
京都	24,896	1,214	828	40	13	424	312	39	68.20%	0.16%	3.29%
兵庫	17,177	867	728	35	2	400	283	0	83.97%	0.20%	4.04%
奈良	976	36	22	1	2	10	9	0	61.11%	0.10%	2.78%
和歌山	3,779	244	200	17	0	63	120	0	81.97%	0.45%	6.97%
鳥取	9,666	647	584	37	0	263	284	0	90.26%	0.38%	5.72%
島根	8,259	277	261	29	0	133	62	36	94.22%	0.35%	10.47%
岡山	14,057	511	402	38	8	111	168	77	78.67%	0.27%	7.44%
広島	10,614	648	588	34	3	287	257	7	90.74%	0.32%	5.25%
山口	5,825	423	178	7	0	76	72	23	42.08%	0.12%	1.65%
徳島	7,216	262	223	26	4	139	34	20	85.11%	0.36%	9.92%
香川	7,253	411	400	11	2	240	147	0	97.32%	0.15%	2.68%
愛媛	20,455	529	482	43	11	274	154	0	91.12%	0.21%	8.13%
高知	23,744	845	766	63	0	382	321	0	90.65%	0.27%	7.46%
福岡	49,367	4,162	3,658	165	3	2,422	1,016	52	87.89%	0.33%	3.96%
佐賀	15,430	737	704	39	10	333	322	0	95.52%	0.25%	5.29%
長崎	11,459	553	504	33	0	264	207	0	91.14%	0.29%	5.97%
熊本	28,901	1,143	954	65	1	543	345	0	83.46%	0.22%	5.69%
大分	11,273	858	814	47	0	327	440	0	94.87%	0.42%	5.48%
宮崎	7,812	313	289	34	7	188	55	5	92.33%	0.44%	10.86%
鹿児島	40,041	1,717	1,640	107	6	1,047	480	0	95.52%	0.27%	6.23%
沖縄	10,077	751	644	24	1	351	217	51	85.75%	0.24%	3.20%
合計	950,943	40,505	36,108	2,439	225	18,180	13,494	1,847	89.14%	0.26%	6.02%

古本で日本対がん協会に寄付ができます

読み終えた本やDVDなどを活用しませんか？

詳しくは「チャリボン」 <https://www.charibon.jp/partner/jcs/>
(ISDNのバーコードがついた書籍類が対象です)

charibon by VALLE BOOKS

お問合せ(株式会社バリューブックス): 0120-826-295
受付時間: 10:00-21:00(月~土) 10:00-17:00(日)